

遠隔授業アンケート  
(2020年度前期・職員)  
教養学部・人文社会科学研究科

---

実施期間：2020.07.27~08.14

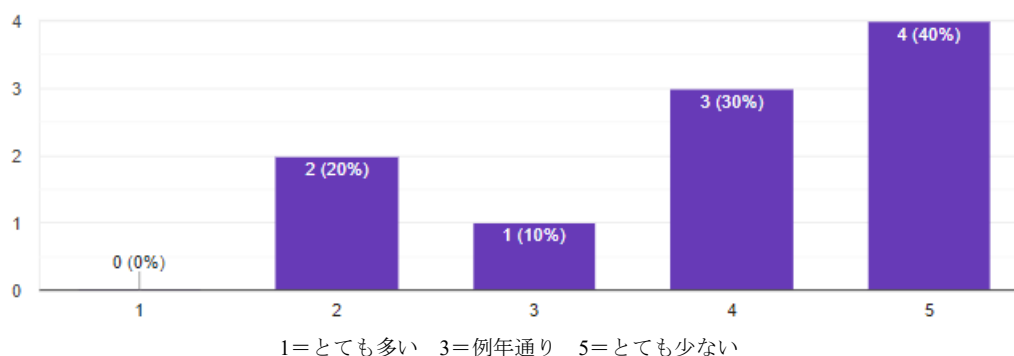
【回答者の内訳】

教養学部・人文社会科学研究科 担当事務職員 10名

I. 遠隔授業ツール

I. 遠隔授業について、教員・学生からのトラブル報告・相談等ありましたか。（例年通りの場合は「3」とします。以下の設問でも同様とします。）

10件の回答



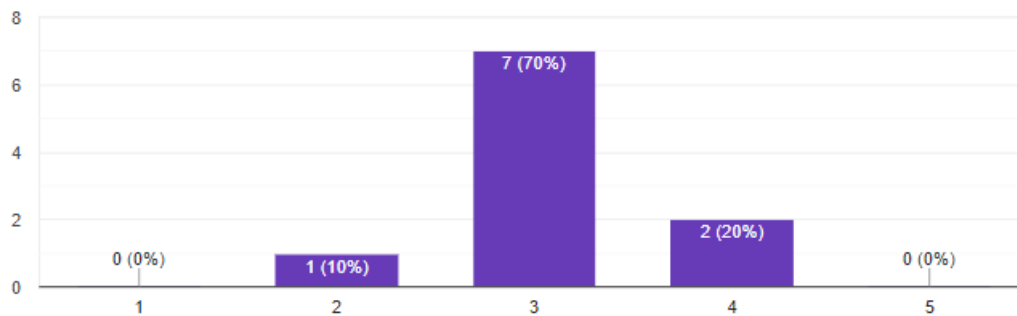
- ・教育機構に特設サイトが設置され、遠隔授業に関するトラブルはそちらに転送したため、結果的に部局の事務への問い合わせは例年より減少したようだ。ただし遠隔対応によって、履修に関する問い合わせへの回答が十分にできなかったことによる後発のトラブルが懸念されている。また、大学に行けない事に対する保証人の不安・不満の電話相談はあった。

【設問 I】自由記述<sup>(1)</sup>

## II. 教員・学生へのサポート

II. 事務職員から見て、教員・学生へのサポートは充実していたと思いますか。

10件の回答



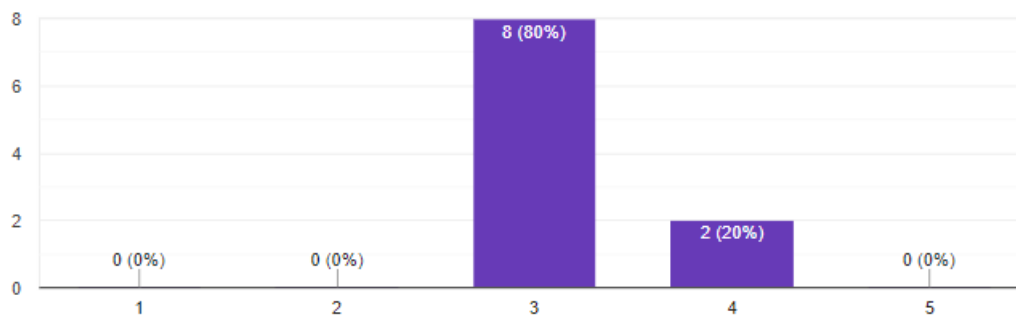
1=とても充実 3=例年通り 5=ぜんぜん充実でない

- ・教育機構の特設サイトにて専用窓口が開設され、事前の周知がなされていたこともあり、部局の事務への問い合わせは少数であった。このことより、専用窓口の存在は、非常に有益であったと推察される。【設問II】自由記述<sup>(2)</sup>

## III. 授業に関する手続き

III. 授業に関する手続き（シラバス、履修登録、授業参加方法の周知など）など遠隔授業に関する業務は順調に行われましたか。

10件の回答



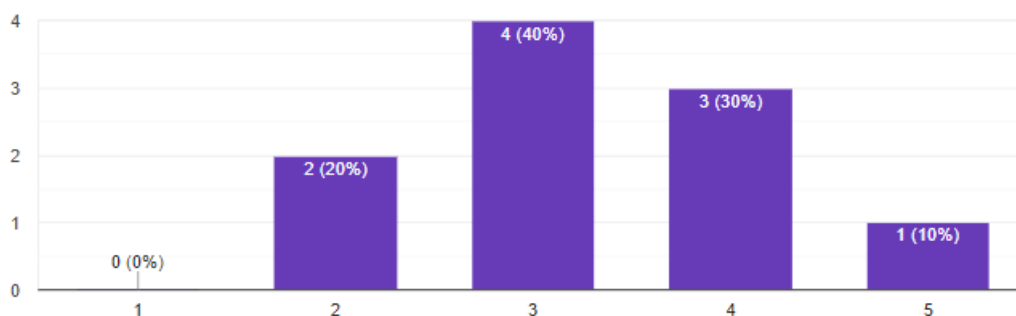
1=とても順調 3=例年通り 5=ぜんぜん順調でない

- ・同上。【設問III】自由記述<sup>(3)</sup>

#### IV. 業務の煩雑さ

##### IV. 遠隔授業に起因する業務は煩雑に感じられましたか？

10件の回答



1=とても煩雑 3=例年通り 5=ぜんぜん煩雑でない

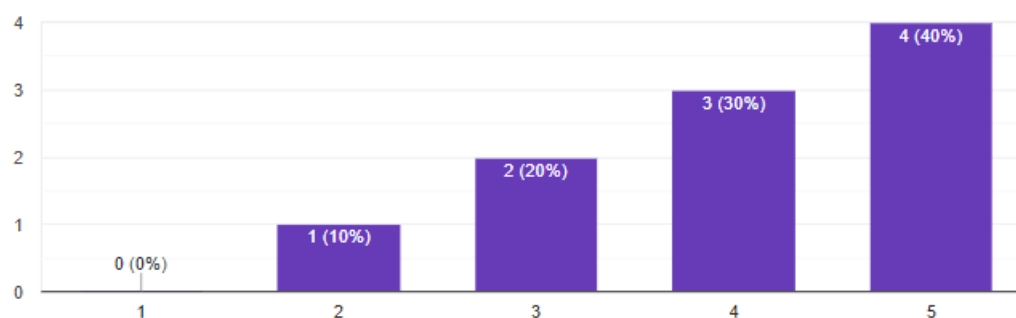
- ・学期初めの全学的な方針が定まっていなかった時期は、不慣れな作業を短時間で対応する必要があり、負担が大きかったようである。それ以外の授業に関する業務については、上記のとおり、学生センターへの問い合わせは減少したようだ。ただし、授業以外の会議等の対応や、学生から提出物の取り扱いが、これまでと異なり負担となったようだ。

【設問IV】自由記述<sup>(4)</sup>

#### V. 身体的・精神的な不調

##### V. 遠隔授業の期間、身体的・精神的な不調はありますか。

10件の回答



1=とても深刻な不調あり 5=ぜんぜん不調なし

- ・遠隔授業が原因の不調が少ない（既述の専用窓口の存在が大きいと推察される）一方で、コロナウイルス禍の中で出勤することへの不安や、大学の方針と現場の感覚との齟齬、リモートワークへの変更における不備等に対するストレスがあったようだ。【設問V】自由記述<sup>(5)</sup>

---

(1) 【設問I】 自由記述

- 教育機関に特設サイトがあるため、Zoom や通信環境などの機器に関するトラブルはそちらに転送した。
- 遠隔授業のトラブルは全学に専用窓口があり、結果的に学生センターへ学生からの問い合わせ件数は例年より減少した。ただし、従前は対面により対応していた、履修に関する問い合わせへの回答が十分にできなかったことによるトラブルがどの今後どの程度発生するか、懸念がある。また、一度も大学に行けない事に対する保証人の不安・不満の電話相談は複数件あった。

(2) 【設問II】 自由記述

- 遠隔授業のトラブルに関する全学の専用窓口について事前の周知がなされていたこともあり、学生センターへの問い合わせは少数であった。

(3) 【設問III】 自由記述

- 遠隔授業のトラブルに関する全学の専用窓口について事前の周知がなされていたこともあり、学生センターへの問い合わせは少数であった。

(4) 【設問IV】 自由記述

- 4月初めは全学的な方針が定まっていなかったこともあり、ガイダンス資料の郵送やガイダンス動画のアップロード等を短期間で実施せざるを得ず、相当に煩雑であった。それ以外の授業に関する業務については、全学の専用窓口について事前の周知がなされていたこともあり、学生センターへの問い合わせは少数であった。ただし、授業以外の会議（教授会等）の対応や、学生からの各種提出物の取り扱いについて、これまでと異なる対応が必要となることから、負担となったように思う。

(5) 【設問 V】 自由記述

- 遠隔授業が原因の不調はなかったものの、コロナウイルス禍の中で出勤を要することについての不安や、大学全体の方針と現場の感覚の齟齬、リモートワーク時の自宅環境の不備（PC スペック、デスクが業務用ではないことによる肩こり等）等によるストレスは少なからずあった。学生や授業担当教員のストレスについては相当のものと推測しており、今後どのように表出するか懸念している。